

発行所
山鹿市山鹿55
圓頓寺
☎43-2424

第三十四世

順境院日攝

合掌 大暑の候、檀信徒の皆様方におかれましては、御清祥の事とお慶び申し上げます。時節は、お盆をお迎えします。七月は、御先



大寒・寒修行

祖並びに万霊供養の月と定められ、お盆をもって一切衆生を回向し、その功德によつて御先祖の追善に資するのだが、古来よりの習いではありません。この本義を信解して、それぞれの家中のお盆を清浄にお迎え頂きたく願う次第であります。

さて、このたびは、総檀信徒の御先祖方の霊位が宿られております菩提寺として、改めて当山・圓頓寺の由緒沿革をご紹介させていただきます。

寛永元年創建

当寺は、寛永元年（一六二四年）、本光院日授上人

により、現在地に日蓮宗寺院として開基創建されました。開山の由縁は、以下のとおりになります。

戦国天正年間、肥後の国は、五十三家の国衆が治めておりまして、薩摩島津家・豊後大友家・肥前竜造寺家の草刈り場として、争乱の極みに至っております。その後、太閤秀吉公の九州仕置により、肥後の国には、



初講法要・住職と式衆

越中富山から佐々成政公が入封します。しかしながら、太閤検地に肥後国衆達は猛反発し、肥後国衆一揆が起こりました。その結果、大多数の国衆が処罰され、当山鹿を領有しておりました、菊池家の庶流で山鹿城主の山鹿重安公も小倉にて、切腹を命ぜられ、一族郎党が滅亡してしまいました。

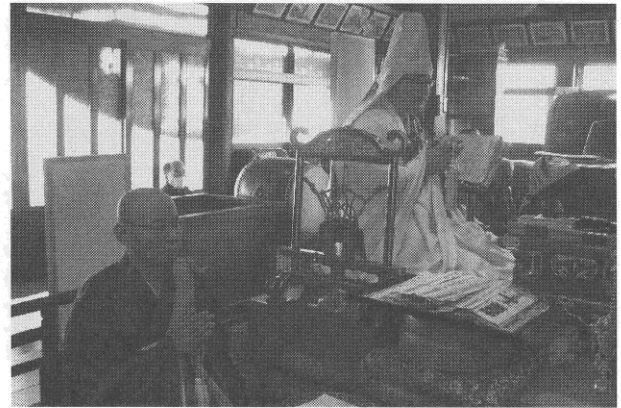
山鹿城主を供養

その山鹿城（別称上市城・清滝城）跡の非業の地に、法華経による山鹿公一族郎党の鎮魂供養のため、当山が建立されたわけでありませぬ。故に、当山では山鹿重安公並びに一族郎党の供養の板位牌（狩野洞容筆）・石塔・小祠が代々恪護されてきました。

清正公さん入国

また、佐々成政公も一揆

の責任を問われ自刃、領国没収されました。その後、入国されましたのが、加藤清正公であります。ご存じのとおり、清正公様は、法華経の大壇越であり、入封後、肥後各地に日蓮宗の寺院が開創されていきます。旧鹿本郡市地域にも、これまで本宗寺院はなく、当山には、当地域最初の日蓮宗寺院としての大きな歴史があるわけです。なお、江戸前期から現在平成に至るまで、絶えることなくお題目の法灯を護持してきた本宗寺院としても、当地域では、唯一であり随一の霊場でもあります。故に、当山の開創にあたっては、清正公様のご威徳は絶大であり、過去現在未来において、決して、この御恩を疎かにしてはならないものなのです。



初講法要・住職と院首上人

天和元年大聖人尊像安置

江戸時代には、豊前街道の宿場町の充実と共にあり、法の礎を築く。天和元年（一六八一年）には、日蓮大聖人御尊像を本堂安置。この御尊像は、彫刻に靈驗あらたかな善行院日助上人の作。元文五年（一七四〇年）には、三宝尊御本尊・法華経一部経経巻・四菩薩立像四天王立像の本堂奉安

等。これらは全て現存し、現在の本堂にお祀りされています。また、この時代の山鹿の古地図にも、当然ではありますが、当山の事も記載されております。

天保六年本堂焼失

天保六年（一八三五年）本堂の焼失にありました。しかし、十四年後の嘉永二年（一八四九年）には、第二十一世世妙園院日導上人により、再建されました。これが、現在の本堂であり、入母屋破風造の梁間七間桁行七間の造りにて、木鼻と虹梁への浮彫の彫刻が秀麗であります。江戸建築の本堂は、県内本宗寺院において、大変貴重な建築物でもあります。この時合わせて、本堂内陣の天井の龍神絵図（狩野洞容筆）が奉納され

建設業
砂利採取販売業
コンクリート二次製品製造販売

有限会社 **阿蘇品組**

代表取締役 阿蘇品 豊

山鹿市中483
電話(0968)44-7815

電気設備工事設計施工

有限会社 **中原電機商会**

熊本県山鹿市栄町298
電話(0968)43-2087

ています。ちなみに、狩野
洞容は、南島出身の肥後藩
の御用絵師であり、さくら
湯の貴賓湯天井の双竜の絵
も描いております。



大寒・修行

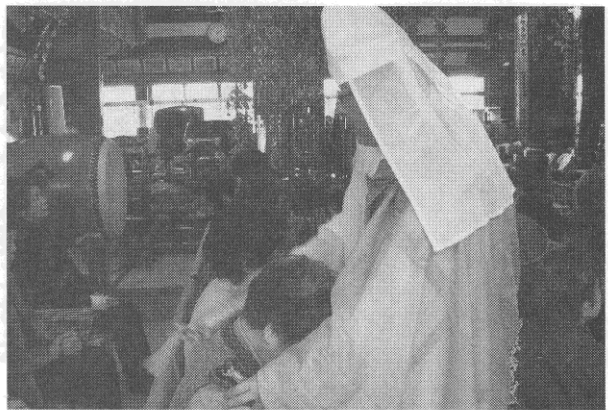
明治・村雲尼公御来寺

明治から昭和初期までは、
温泉町として県下随一に殷
賑を極めた町は山鹿町であ
りました。その流れととも

に当山も繁栄していきまし
た。明治には、皇族の村雲
日栄親下、昭和の初めには、
身延山の杉田日布法主親下
や華族九条家の村雲日浄親
下の御来山を仰ぎ、御親教
大法要を賜る寺歴は、寺院
興隆の証左でもあります。

住職の責任・檀信徒の責務

このように、当山は、四
百年近くの長い歴史を有し、
歴代の住職と先達の多大な
祈りの積み重ねにより、現
在に至り受け継がれている
わけであります。光輝ある
伝統を有する当山を、これ
からへ、つつがなく護持し
ていくことは、もちろん第
三十四代の現住職の責任で
すが、檀信徒の皆様の尊い
責務でもあります。何故な
ら、菩提寺とは全ての檀信
徒皆様方のものなのです
から。今後とも当山の護持発



鬼子母神大祭で祈禱

展のため、御協力の程、宜
しくお願い申し上げます。

建設準備委員会設置へ

お知らせになります。が、
本年三月の護持会総会にて、
本堂の改修への建設準備委
員会の設置の許可を頂きま
した。瓦の傷み激しく、豪雨
の際には多数箇所雨漏りす
るのが現状です。残念なが
ら、近辺寺院の屋根瓦と比
べれば、一番醜い有様です。

平成十七年度～平成三十四年度

立正安国

お題目結縁運動

日蓮宗

お食事処

花見坂

HANAMIZAKA

山鹿市花見坂330～13 ☎ 44-6435

一目瞭然です。また、築約百七十年の星霜により地盤の沈下の影響で柱のゆがみも相当なものになってきております。現住職として、この状況は、御本尊様、諸天善神様はもとより、菩提寺に安住しておられる檀信徒方の多くの御先祖の御霊

法華経と御遺文の学習

「法を聞いて歡喜し讚めて、乃至一言をも発せば、則ち為れ已に、一切三世の仏を供養するなり。」

『妙法蓮華経方便品第二』
経文の解説です。法華経の教えを聞いて、信仰に喜びを見いだし、「ありがたい。尊い教えだなあ。」と、たった一言でも口にします。

に対して只々申し訳のないことでもあります。この貴重な現本堂を将来にわたって護持するためにも、檀信徒ご一同様のご理解とご協力の段、改めて宜しくお願い申し上げます。次第であります。再拝

この一言は、たったの一言の言葉ではあっても、ありとあらゆる全ての仏様を供養することと同等である。という意味です。

私たちは法華経を修行する者は、教えを聞く素直な心を保つ、そうすれば自然と喜びを、仏様の御力により体得することが出来るようになります。そしてこの喜びを、自らの言葉として表



寒修行「出立の祈り」

現することが大事であります。自らの心から溢れてくる真心を、仏様にお伝えし、なおかつ周りの人々にも伝えてこそ、たったの一言が、全ての仏様を供養することと同等の価値を有する言葉となりえるのです。

しかし、仏様への讃嘆の一言の言葉が、何を言ってもいいのかわからない方も、いらつしやるかもしれません。でも、御安心下さい。南無妙法蓮華経と心からお唱え下

JA鹿本(株)鹿本広域福祉センター総合葬祭会館

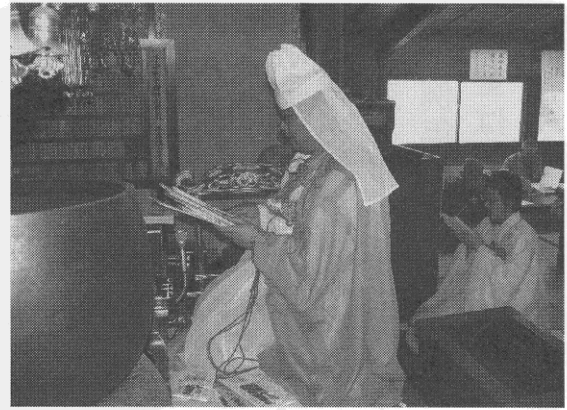
やすらぎの里

天 寿 苑

〒861-0535 熊本県山鹿市南島1246(山鹿大橋そば)

TEL. 0968-44-0983

葬儀場・法事会館を併設した総合葬祭会館です



鬼子母神大祭

さるだけで結構です。なぜなら、南無妙法蓮華経とは、法華経に南無することを意味します。南無とは、帰依することを意味します。ですから、南無妙法蓮華経と一唱することは、法華経を讃嘆する最高の一言の言葉となるからです。

難しく考えることではありません。法華経を信奉し、お題目をお唱えすれば、一遍の唱題ではあっても、真

心からの唱題であるならば、全ての仏様を一度に供養したことになる。つまり、それだけ法華経の教えは、余教の経典よりも優れたものなのです。

「天、晴れぬれば、地、明らかなり。法華を識る者は、世法を得べきか。一念三千を識らざる者には、仏、大慈悲を起して、五字の内はこの珠を裏み、末代幼稚の頸に懸けさしめたもう。四代菩薩のこの人を守護したまわんこと、大公・周公の成王を摂扶し、四皓が恵帝に侍奉せしに異らざるものなり」

『観心本尊抄』

今回の御遺文の大意は、以下のようになります。

天は、あまねく大地を照らし出します。この天の偉大な力の如く、法華経を信じていけば、一般世間の事象や事柄を、明瞭かつ平等にとらえることが出来、理解できるようになります。仮に、「一念三千」という、法華経の高度な尊い法門を理解出来ない、法華経受持者がいたとしても、仏様は、大慈悲心により、法の凡夫であります私たちの頭へと、「一念三千」を含む妙法蓮華経という宝珠をお掛け下さります。

また、四大菩薩様が、法華経信行者を守護下さるゆえんは、中国古代において太公望や周公旦が成王を助け、商山に隠れ住んだ四人の白髪の賢者が幼い恵帝に



upward inc.

地域に密着した熊本の保険代理店

アップワード エスト保険

取扱生命保険会社

- アクサ生命 ■NKSJひまわり生命 ■アメリカンファミリー生命 ■大同生命 ■メットライフ生命
- 東京海上日動あんしん生命 ■オリックス生命 ■ソニー生命 ■エヌエヌ生命

取扱損害保険会社

東京海上日動火災保険

〒862-0965 熊本市南区田井島1-3-50 ガレリア2

Tel. 096-223-8105 FAX. 096-223-8106 email:esthoken@royal.ocn.ne.jp

お仕えした故事と、まったく異なることがないように、自明であり自然なことなのです。
 以上の内容になります。
 要するに、法華経の神髓を信解することは、大変難し

本堂改築に想う



護持会顧問 井上勝介

夜半より早朝にかけ、激しく窓を叩く雨の音。今年、例年になく雨が多い。「本堂は漏りよるだろうな。坊守さん達、洗面器を

いことでもありますが、御遺文の如く、仏様に全幅の信をおいて、慈悲心と宝珠を頂戴出来るよう、頭をぬかずく心を、常に忘れてはならないのです。

持っておおごつしよんなはるばい。様子が目に浮かびます。

建立以来数百年を経た本堂は、お寺の方々、檀信徒の方々、懸命の看護・看病にも拘わらず、頭から足の先まで、至る所難病を抱えて悲鳴を上げています。降る雨は建物の涙かもしれません。【ご住職挨拶に、圓頓寺の由緒沿革が紹介されています。ご参照ください】
 幾多の改修、補強にも拘



寒修行・井上さん(右)

わらず、建物の至る所に歪みが生じています。永年に亘つての東、北方向にかけての地盤の沈下は、本堂建立時としては、頑丈な基礎石の乱れを生じ、その高低差は最大一尺にも及びます。専門職人達による基礎石を持ち上げ、また引き起こしでのコンクリート補強等も及ばず、その沈下は時と共に進んでいるものと思われ

印刷 盛文社 有限会社

山鹿市下町1807
 TEL 0968-43-2604
 FAX 0968-43-6075

生活環境に、やさしい企業

水廻りの事ならすべてOK!

TORAYA  SHOKAI

合資会社 **とらや商会**

TEL(0968)43-2212 FAX(0968)44-5990

〒861-0532 熊本県山鹿市鹿校通一丁目3番29号

ます。

その基礎石の歪みは柱の“倒れ”を生じ、大きなところで約八寸もあり、このことは、建具等の開閉にも支障をきたしています。また柱と梁の“ずれ”は化粧持ち送りの落下を招きかねない状態にあります。

私達が日ごろ御奉仕する本堂の床面は、二十年前の補強、補修により何とか平滑に保たれていますが、それもシロアリの被害を受けたり、老朽化して腐食した部分の補修で、床全体の木組みの改修とは程遠いものであります。シロアリの駆除・予防は約十年ごとに行なっていますが、十年前に気付いたときは、とうとう小屋組みまで及んでいました。当初の本堂の屋根は、約

五十年前雨漏りの激しかった“土瓦”より、セメント瓦に葺き替えが進められましたが、梅雨前の間をぬつての工事で、仏像・仏具を守るべく、早朝より夜遅くまでの突貫工事で進められ、床組と同じように傷んだ桁垂木、屋根板の補強、補修で先を競って瓦仕舞をしたものでありました。それでも近隣の寺院に較べると立派で誇れるものであり、その後約四十年近く何事もな



井上組賞を大安寺秋吉上人へ

く過ごすことが出来ました。しかし、近隣の寺院の屋根の改修が進められてきましたら、檀那寺「圓頓寺」は雨漏りするようになり、施工に携わった者達の懸命の補修でも状態は良くならず、本堂改築の必要が語られるようになり、幾度となく討議されてきましたが、結論まで至らず現在に至っています。

本年度の総会に於いて、本堂改築の提案がなされ、出席者全員の賛同を得、改築の決議がなされ、近く委員会の結成の運びとなったことは、寺院 檀信徒にとつて将来の憂いを取り除き、今後何十年・何百年の計が諮られたことに、非常な喜びを感じます。父の後を追いながらお寺の建物を見つめた五十年余



拝む心で尊い品を

梅谷佛具店



仏壇・仏具・寺院用具
寺院納骨堂設計施工

本店

〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9
TEL (092)271-0456・FAX (092)271-0464

工場

〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4
TEL (092)806-7499・FAX (092)807-1079

◆E-mail umetani@umetani-jp.com

◆HP <http://www.umeyani-jp.com>



おときを準備する木下さん（左）

婦人会副会長 木下美枝子

お詫びと感謝

り、檀信徒会館の改築、庫裏の改築、夫々二回携さわらせて戴き、二回目の庫裏の改築のとき、その二階より院首と本堂を眺め、その改築は「誰がするとだろか」と申したとき、「ああた達が早うせにやんたい」と申

されたことが、昨日のことのように思い出されます。檀信徒会館の落慶法要の年に逝った、父の面影が目に浮かびます。今後の圓頓寺と、檀信徒の皆様が平穩を祈るものがあります。
合掌

一年の月日のまわり方が、年と共に早くなっているように感じます。今年も五月三日の大黒尊天祭の日が参りました。我が家の大黒様を、圓頓寺の親大黒様の元へ持参し、御祈禱をしていただきます。圓頓寺婦人会も、大黒尊天祭は大忙しになります。前年秋の米の収穫期に、必要な量のもち米を買って準備します。五月が近づいてか



花御堂を飾る木下さん（左から2人目）

ら精米し、五月一日に洗って、二日には餅つき、少し乾いたらその日のうちに袋詰めしておきます。五月三日当日は、赤飯を蒸してパック詰めして、昨日ついた餅と共に販売いたします。他に野菜や漬物等御協力の品も同時に販売いたします。お詣りに来られた檀信徒の方がお買い上げください。

航空券・JR・個人旅行・団体旅行

株式会社 ワールド観光

TEL 0968-72-5656

玉名市中尾426-3



平成4年・青年会による餅つき

この大黒餅はいつの頃から始まったのでしょうか？私の遠い記憶をたどれば、平成元年二月、当時副住職だった英知上人が大荒行第参行を成満され、大黒尊天を勧請（お祭り）する資格を受けられたことから、五月の立教開宗会と併せて大黒尊天祭が開催され、青年会により福餅つきが行われ、平成二年十二月には熊本市

・本妙寺で開催された「大黒まつり」に、圓頓寺で好評だった青年会の福餅つきが初参加したと思います。本堂の裏にテントを張り、臼と杵でついた餅を、冷えるのを待たずにパックに詰め、くつついてしまいひと固まりになった餅に、あきらめたことを思い出します。熊本市内の大黒様を祀る寺院が集まって、各お寺で、うどん、たこ焼き、おでん、饅頭、お好み焼き等を出して、それはそれは賑やかでしたが、圓頓寺の餅が一番の大人気で、買って下さる人が行列して、ひと臼ごとに飛ぶように売れるのですが、前記のようについでにぐの柔らかい餅を、いきなりパックに詰めてしまうので、全部くつついてひと固まりになってしまいます。



今年の婦人会バザーの様子

餡餅、キビ餅、ヨモギ餅と作っていました。が、衛生面で保健所から指導もあり、餡はいれなくなり、数年して本妙寺の「大黒まつり」も開催されなくなり、圓頓寺の餅つきも、杵について下さる人もいなくなり、餅つき機に代わりました。餅つきだけを考えてみても、多くの人の手が要りません。皆年を取りました。今



郷土に生まれて味ひとすじ

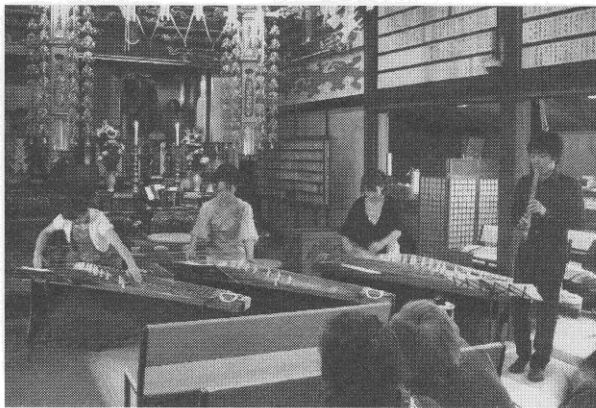
仏・祝会席・鉢盛・寿司

プラザ店 ☎ 44-4743 ☎ 43-1739
中町店 ☎ 44-0055
仕出部 ☎ 44-5804



までどおり協力して餅をついて、バザーをしたいという気持ちには皆さん持つていますが、もう身体がついてこなくなりました。今年（二十七年）の餅つきも、外部からのお手伝いをお願いして、やっと出来たという有様でした。皆様のご協力をいただき、また、檀信徒の皆様からもたくさん買っていたいただきましたが、今年度を最後にしたいという事になりました。

圓頓寺婦人会は新しく加入してくださる方も無く、現在の会員も七十代三〜四名、他は八十代、九十代、気持ちばかり、口ばかりは元氣ですが、身体は動きません。身体の具合もそれなりに悪くなってきました。新しく会員さんに加入していただいて、また、何事も復



お碁と尺八の献奏

活してもらったら、と思っています。

圓頓寺婦人会は、村雲婦人会として昔から栄えた会だそうです。その誉れある会を、この時代に無くしてしまつては御先祖様に申し

初講法要で和樂を献奏

正月十三日、新春の香華たなびく佳日に、当山の初講法要が厳修されました。

初とは、日蓮大聖人の一年の最初の月命日のことです。講とは、信仰を同じくする人たちの集まりのことです。

つまり、初講法要とは、日蓮大聖人の最初の月命日忌の聖日に、報恩感謝を表わす参拝行事であります。初講の名称の通り、昔から大切な年頭行事として、多

訳がたちません。どうぞ、圓頓寺の村雲婦人会の灯が消えないよう、皆様の婦人会加入と御協力を伏してお願いたします。

お詫びと御協力をお願いを申し上げます。合掌

初とは、日蓮大聖人の一年の最初の月命日のことです。講とは、信仰を同じくする人たちの集まりのことです。

つまり、初講法要とは、日蓮大聖人の最初の月命日忌の聖日に、報恩感謝を表わす参拝行事であります。初講の名称の通り、昔から大切な年頭行事として、多



株式会社 松下仏壇店

大牟田本店

大牟田市上町2丁目2 上官通り
☎0944-56-3675

熊本店

熊本市中央区上水前寺1-12
-12 (東バイパス熊工前)
☎096-384-5666

玉名店

玉名市中平畑1832 玉名高校入口
☎09687-4-4840

山鹿店

山鹿市大橋通り404
☎0968-43-5665

●仏具のご注文がございましたら、多少にかかわらず配達いたします

